

第1学年 美術科年間指導計画及び評価計画

平成26年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準(観点別達成目標)				評価の場面と評価方法	
				①美術への関心・意欲・態度	②発想や構想の能力	③創造的な技能	④鑑賞の能力	授業中における評価	授業後における評価
4 5	デッサン ・表現(絵) A(1)(2)	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆の特性を学び、色の濃淡を工夫しながら描く。 モチーフの質感や立体感、奥行き、光線の向きを考え、作品に生かす。 作品鑑賞をし、話し合う。 	5	鉛筆の使い方、デッサンについて理解し、自主的に考え、制作に臨んでいる。	鉛筆の濃淡の幅から創造的な表現を考え、構想を練っている。	デッサンの基礎的な技法を理解し、効果的に表現することができる。	自分や友達の作品を鑑賞し、鉛筆の濃淡の美しさ、デッサンの良さを感じることができる。	制作の様子、制作途中、完成作品	制作の様子、完成作品
6	ムンク「叫び」の鑑賞 ・鑑賞B(1)	<ul style="list-style-type: none"> 著名な作家の作品を鑑賞し、作者の意図や思いを感じ取る。 	1	楽しみながら、意欲的に鑑賞することができる。			作品を鑑賞し、作者の意図や思いを感じ取ることができる。	鑑賞態度	鑑賞のプリント
6 7 9	平面構成 ・表現(デ) A(1)(3)	<ul style="list-style-type: none"> 色彩について興味を持ち、作品に取り入れる。 材料や用具の生かし方を考え、工夫してあらわす。 お互いの作品を鑑賞し、意図や工夫した点を話し合う。 	17	色彩、ポスターカラーに関心を持ち、意欲的に制作に取り組み主体的に活動している。	幾何形体の組み合わせから創造的な形を見つけ、豊かな構想を練っている。	色彩について理解をし、ポスターカラーを正しく使用しながら工夫して表現している。	自分や友達の作品を鑑賞し、構成や配色の意図を感じることができる。	制作の様子、制作途中、完成作品	制作の様子、完成作品
10	学習発表会の鑑賞 ・鑑賞B(1)	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが制作した作品を鑑賞し合い、様々な表現方法や発想があること知る。 自分の展示された作品を鑑賞し、頑張ったこと、今後の課題を振り返る。 	1	楽しみながら、意欲的に鑑賞することができる。			自分や友達の作品を鑑賞し、よさや美しさを感じ取ることができる。	鑑賞態度	鑑賞ノート
11 12 1 2 3	木彫 ・表現(デ) A(2)(3)	<ul style="list-style-type: none"> 生活を美しく心豊かにする木の魅力に気付く。 用途や機能、使う人の気持ちを考えて構想を練る。 加工や塗装で使用する用具を正しく使う。 用と美の調和や材料の特徴を生かした工芸のよさを味わおう。 	18	身近な工芸に興味をもち、主体的に取り組もうとしている。	彫りの技法を理解し、機能を考慮してデザインを考える。	木材の性質や、彫刻刀の使用方法を理解し表現することができる。	生活の中の道具や工芸品から、機能性や形の美しさを感じ取ることができる。	制作の様子、制作途中、完成作品	制作の様子、完成作品
3	自然と向き合う日本の美 ・鑑賞B(1)	<ul style="list-style-type: none"> 自然や季節の美しさを取り入れた日本の美術に関心を養う。 形や色などの使い方に注目して、作品の世界を味わう。 	3	作品の特徴や表現方法に関心をもち、自分なりの見方や感じ方を大切にしながら主体的に取り組もうとする。			自然、季節の取り入れ方、形や色の表現方法などを味わったり、日本の美術作品の美しさに気付いたりしている。	話し合い発表の様子 鑑賞態度	鑑賞レポート 話し合い発表の様子
年間合計時数			45	* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、50%以上がB、50%未満をCとします。					

第2学年 美術科年間指導計画及び評価計画

平成26年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①美術への関心・意欲・態度	②発想や構想の能力	③創造的な技能	④鑑賞の能力	授業中における評価	授業後における評価
4	見方を変えて～細密画～ ・表現(絵)A(1)(2)	・身の回りの物を普段とは違う視点で見つめることを楽しむ。 ・見方を変えて発見したことから構想を練る。 ・意図に合わせて表現方法を工夫する。 ・見方を変えた表現のおもしろさを味わう。	4	身の回りの物を普段とは違った視点で見つめることを楽しもうとしている。	見方を変えて発見したことから構想を練っている。	意図に合わせて表現方法を工夫し材料や用具を選択している。	見方を変えた表現のおもしろさを味わい理解しようとしている。	制作の様子、制作途中、完成作品	制作の様子、完成作品
5 ・ 6	木彫なべしきの着色 ・表現(デ)A(2)(3)	・2年生で制作した木彫なべしきに、デザインに合った色を選び着色、ウレタン塗りをする。	3	自分の作品に愛着を感じ、丁寧な作業をする。	自分の作品にはどんな色が合うか考え、選ぶ。	作業工程を理解し、正確で丁寧に作業をする。	自分や友達作品を鑑賞し、よさや美しさを感じ取ることができる。	制作の様子、制作途中、完成作品	制作の様子、完成作品
6	ゴッホ「自画像」の鑑賞 ・鑑賞B(1)	・著名な作家の作品を鑑賞し、作者の意図や思いを感じ取る。	1	楽しみながら、意欲的に鑑賞することができる。			作品を鑑賞し、作者の意図や思いを感じ取ることができる。	鑑賞態度	鑑賞のプリント
7 ・ 8 ・ 9 ・ 10	ユニバーサルデザイン ・表現(デ)A(2)(3)	・多くの人に使いやすくデザインされているものを探す。 ・使いやすさについて話し合いながら構想を練る。 ・使いやすい形や機能を考え、材料や作り方を工夫する。 ・工夫したことをまとめ発表する。	12	多くの人に使いやすくデザインされているものに興味関心をもち、主体的に制作している。	使いやすさなど、形や機能を考えながら構想を練る。	使いやすい形や機能を考え、材料や作り方を工夫することができる。	既成の製品から、人に役立つデザインの特徴や働きを理解することができる。	制作の様子、制作途中、完成作品	制作の様子、完成作品
10	学習発表会の鑑賞 ・鑑賞B(1)	・自分たちが制作した作品を鑑賞し合い、様々な表現方法や発想があること知ろう。 ・自分の展示された作品を鑑賞し、頑張ったこと、今後の課題を振り返ろう。	1	楽しみながら、意欲的に鑑賞することができる。			自分や友達作品を鑑賞し、よさや美しさを感じ取ることができる。	鑑賞態度	鑑賞ノート
11	三原色で紅葉を描く ・表現(絵)A(1)(2)	・日本の秋を感じながら、紅葉の美しさや自然の美が持つ複雑な色彩を楽しむ。 ・葉の造形的な特徴をとらえ、出来る限り実物に近い色を作り出す。 ・三原色で全ての色を作ることができることを理解し、たくさん色を作る。 ・お互いの作品を展示、鑑賞し、自然のもつ複雑な造形美を感じる。	3	紅葉の美しさを感じ取り、意欲的に制作に取り組むことができる。	紅葉の複雑な色合いを、工夫して表現する。	描く手順を正確に理解し、造形的特徴をとらえる。	自分や友達作品を鑑賞し、よさや美しさを感じ取ることができる。	制作の様子、制作途中、完成作品	制作の様子、完成作品
12 ・ 1 ・ 2 ・ 3	静物デッサン ・表現(絵)A(1)(3)	・デッサンを学び、絵を描くことを身近に感じる。 ・鉛筆を使うことで濃淡の幅を感じ、道具としての生かし方を考え、工夫して表す。 ・表現の工夫を味わい、作者の気持ちを感じ取る。	9	・鉛筆の特性を学び、色の濃淡を工夫しながら描く。 ・モチーフの質感や立体感、奥行き、光線の向きを考え、作品に生かす。 ・作品鑑賞をし、話し合う。	鉛筆の使い方、デッサンについて理解し、自主的に考え、制作に臨んでいる。	デッサンの基礎的な技法を理解し、効果的に表現することができる。	自分や友達作品を鑑賞し、鉛筆の濃淡の美しさ、デッサンの良さを感じることができる。	制作の様子、制作途中、完成作品	制作の様子、完成作品
3	ジャポニズム 国境を越える美術 ・鑑賞B(1)	・ジャポニズムを例に、美術を通した国際理解に目を向けよう。 ・浮世絵と西洋の美術作品を比べ、違いや共通性を話し合おう。	2	ジャポニズムを例に、美術を通した国際理解に目を向ける。			浮世絵と西洋の美術作品を比べ、違いや共通性を話し合おう。	ワークシート、話し合いの様子	ワークシート、発表の仕方、話し合いの様子
年間合計時数 35				* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、50%以上がB、50%未満をCとします。					

第3学年 美術科年間指導計画及び評価計画

平成26年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①美術への関心・意欲・態度	②発想や構想の能力	③創造的な技能	④鑑賞の能力	授業中における評価	授業後における評価
4	時間を超える美術 ・鑑賞B(1)	<ul style="list-style-type: none"> 古い寺院や仏像のよさを理解し、日本の伝統文化の奥深さを知る。 寺院の歴史的背景や仏像の特徴を知り、修学旅行に備える。 	3	日本の伝統文化に関心を持ち、主体的に見方や理解を深める。			感性や想像力を働かせて造形的なよさや美しさを感じ取り、日本の伝統文化について理解や見方を深める。	ワークシート・話し合いの様子	事後学習のスケッチブック・ワークシート
5	修学旅行思い出スケッチブック ・表現A(1)(3)	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行に向けて、日本の伝統文化について関心を深める。 奈良、京都について調べ、表紙絵の題材として表現したいテーマを選び構成する。 構想を基に、材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫する。 作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、お互いの作品を鑑賞しよう。 	3	京都、奈良に興味を持ち、意欲的に制作に取り組んでいる。	京都・奈良らしいイメージで、表紙絵のレイアウトを考えることができる。 ・色や紙の素材の違いを生かし、様々な表現の工夫ができる。	自分のイメージするアイデアを、美しく再現することができる。	自分や友達作品を鑑賞し、よさや美しさを感じ取ることができる。	制作の様子、制作途中、完成作品	制作の様子、完成作品
6	ピカソ「ゲルニカ」の鑑賞 ・鑑賞B(1)	<ul style="list-style-type: none"> 著名な作家の作品を鑑賞し、作者の意図や思いを感じ取る。 	1	楽しみながら、意欲的に鑑賞することができる。			作品を鑑賞し、作者の意図や思いを感じ取ることができる。	鑑賞態度	鑑賞のプリント
6 ・ 7 ・ 9 ・ 10 ・ 11	ペン画 ・表現A(1)(2)	<ul style="list-style-type: none"> 題材に興味や関心を持ち、よりよい表現を追求しようとする。 自己の内面に迫るような表現の価値に気づき、さらに心象表現に関心を持つ。 	20	題材に興味や関心を持ち、よりよい表現を追求しようとする。	図鑑・資料集・写真などから発想し、創造的に構想を練ることができる。	ぼかしや強調・省略・単純化などの効果を考え、いろいろな表現材料や技法を試しながら、ペン画での表現を工夫する。	参考作品から発想と表現の自由さを感じ取り、友達作品について意見を述べる。	制作の様子、制作途中、完成作品	制作の様子、完成作品
3	篆刻 ・表現A(デ)	<ul style="list-style-type: none"> 自身の名前を個性的で美しいデザインで篆刻にする。 	8	自分の作品に愛着を感じ、丁寧な作業をする。	文字全体の読み易さより全体の字画の構成や変化を工夫し、個性的なデザインを考えることができる。	古い文字や辞典、家の印などを参考にし、個性的なデザインを創り上げる。	自分や友達作品を鑑賞し、よさや美しさを感じ取ることができる。	制作の様子、制作途中、完成作品	制作の様子、完成作品
年間合計時数			35	* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、50%以上がB、50%未満をCとします。					